



【挨拶】

新 年 を 迎 え て

日本禁煙科学会理事長 高橋裕子

日本禁煙科学会のみなさま。明けましておめでとうございます。みなさまの日頃のご支援に、厚く御礼申し上げます。

昨年(平成22年)は、4月1日に神奈川県を受動喫煙防止条例が施行され、更に10月にはタバコ価格の値上げが実施されました。私たちの永年の念願であったこの二つが実現しましたことは、日本禁煙科学会の多くのみなさまのご尽力の賜物であり、後世に残る記念すべき年となりました。

禁煙治療薬の不足によって禁煙外来の新患受付をストップせざるを得ないなど、予期せぬ事態もありましたが、年末には改善され、すがすがしい気持ちで新年を迎えることができましたことを、皆様とともに慶びたいと思います。

さて、新年にあたり、日本禁煙科学会の今年の主な課題を下記に列挙いたします。

禁煙支援者の育成の充実

日本禁煙科学会は、「喫煙者のみなさんが禁煙を通じて自分の可能性を広げることができる質の良い禁煙に取り組まれること」を願って、禁煙支援者の育成を重要な柱と位置付けてまいりました。

これまで禁煙支援者認定を受けた支援士は300名を超えました。全国禁煙アドバイザー育成講習会も、全国の沢山の方々に支えられ、年末までに90回の開催を数えるに至っております。今年は、禁煙支援者育成のさらなる充実をめざします。

女性・子ども等への禁煙支援への提言

女性や子ども、精神疾患を有する人等、現行の禁煙支援体制の中で支援が困難な人たちに特化した禁煙方法の開発や支援体制の開発、禁煙環境の整備ですが、本学会の薬剤師分科会や子ども分科会・治療分科会・ナース分科会など多くの分科会が熱心に取り組み成果を上げています。今年は、これまで以上に連携を密にし、よりよい禁煙方法や支援方法を提言してまいります。

これまでの成果のさらなる発展を

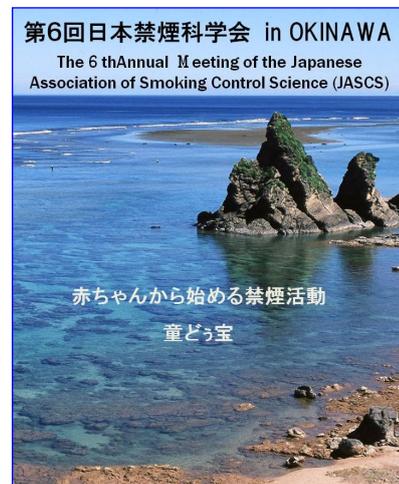
昨年、喫煙防止教育の発展と普及について、会員調査を通じて命題を提示して学術総会でダイアログを試みる教育分科会の新しい試みは多くの注目を集めました。質の良い禁煙のためにタバコ価格の値上げも重要であり、厚生労働科研の研究班報告など本学会会員の貢献は目覚ましいものがありました。また、韓国禁煙学会との交流や合同ミーティングも2回にわたり開催され、両国が手を携えて禁煙の普及に取り組む大きな基盤を築くことができました。

今年は、これらの活動の成果をさらに推進して発展を期する所存です。

第6回学術総会沖縄開催

毎年開催されている学術総会も6回目となります。今年は11月26-27日に沖縄県にて開催です。メインテーマは「童どう寶」。日本禁煙科学会の学術総会にふさわしいテーマです。

日本禁煙科学会は、今年も「誰もがタバコで苦しむことのない日の早い到来」をめざして、活発な活動を展開してまいります。どうぞ引き続き、本学会へのご支援をお願いいたします。



開催日：2011年(平成23年)11月26日(土)-27日(日)
開催地：沖縄県那覇市(沖縄県医師会館他)